



\*噴火を想定する火口として、近年の噴火活動から「大穴火口及び旧火口周辺」(大穴火口と燕沢火口列)とする。  
 \*吾妻小富士、五色沼など、想定火口以外で噴火が発生した場合は、新たな噴火警戒レベルを協議会で設定する。  
 \*噴火規模の表現は、火山学的な噴火規模(噴出物量)とは異なり、大きな噴石や火砕流等の到達する範囲(影響範囲)を基準としている。